

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(19年2月分)

1. 調査実施期間 平成19年 1月20日 ～2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は41社、回収率は71.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		19/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 3.1	6.3	△ 1.6
	外材	△ 11.5	△ 5.1	△ 2.6
販売動向	国産材	△ 9.4	8.1	1.7
	外材	△ 10.3	7.7	2.6
在庫動向	国産材	△ 4.8	△ 6.7	△ 6.9
	外材	△ 9.5	△ 14.9	△ 13.9

仕入れは、国産材が回復基調で、プラス幅から若干マイナスへ戻すが明るさ出ている。外材はマイナスを着実に縮めるが依然弱含み。

販売は国産材、外材ともプラス幅への動きで好調窺える。

在庫は国産材、外材ともマイナス幅でほぼ横ばい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	19/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	15.4	3.8	2.0
スギ正角(KD)	26.0	16.0	8.3
ヒノキ正角	19.2	9.6	6.0
ヒノキ土台角	20.0	12.0	6.3
米ツガ正角(現地挽)	16.7	4.8	7.1
米ツガ防腐土台角	17.4	6.8	4.8
米ツガ割物(現地挽)	22.7	9.1	9.1
米マツ平角	16.7	6.3	4.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	34.8	17.4	11.4
ホワイトウッド集成管柱	43.5	28.3	13.6
レッドウッド集成平角	40.5	26.2	17.5
型枠合板(国産)	△ 10.0	△ 10.0	0.0
型枠合板(輸入)	△ 22.7	△ 15.9	△ 2.4
針葉樹合板	38.1	23.8	10.0

スギ正角(グリーン、KD)及びヒノキ正角、土台角は大きなプラス幅一気に縮めるが好調を堅持している。米ツガ正角、防腐土台角、割角及び米マツ平角はプラス幅を大きく縮めたが、強含みに変わらない。

北洋アカマツタルキ極めて大きなプラス基調を縮め、多少落ち着き出てきた。集成管柱、集成平角は極めて大きなプラス幅をやや縮めるが絶好調である。

型枠合板(国産、輸入)はマイナス基調推移で勢いない。一方、針葉樹合板は極めて大きなプラス幅を多少縮めたが、絶好調を継続している。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2007年2月19日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		19/2月	3月	4月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	3.1	3.2
		やや増加	12.5	15.6	6.5
		横ばい	71.9	75.0	80.6
		やや減少	12.5	3.1	3.2
		減少	3.1	3.1	6.5
	外材	増加	5.1	2.6	2.6
		やや増加	5.1	12.8	10.5
		横ばい	53.8	61.5	71.1
		やや減少	33.3	17.9	10.5
		減少	2.6	5.1	5.3
販売動向	国産材	増加	0.0	6.5	3.3
		やや増加	12.5	12.9	13.3
		横ばい	59.4	74.2	73.3
		やや減少	25.0	3.2	3.3
		減少	3.1	3.2	6.7
	外材	増加	0.0	5.1	2.6
		やや増加	12.8	23.1	15.8
		横ばい	56.4	56.4	71.1
		やや減少	28.2	12.8	5.3
		減少	2.6	2.6	5.3
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	9.7	6.7	0.0
		横ばい	74.2	80.0	89.7
		やや減少	12.9	6.7	6.9
		減少	3.2	6.7	3.4
	外材	増加	2.7	0.0	0.0
		やや増加	10.8	5.4	0.0
		横ばい	54.1	64.9	80.6
		やや減少	29.7	24.3	11.1
		減少	2.7	5.4	8.3

2. 価格動向

品目		19/1月	2月	3月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	30.8	7.7	4.0
	横ばい	69.2	92.3	96.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	52.0	32.0	16.7
	横ばい	48.0	68.0	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	38.5	19.2	12.0
	横ばい	61.5	80.8	88.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	40.0	24.0	12.5
	横ばい	60.0	76.0	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		19/2月	3月	4月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	33.3	14.3	14.3
	横ばい	66.7	81.0	85.7
	やや下落	0.0	4.8	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	39.1	18.2	14.3
	横ばい	56.5	77.3	81.0
	やや下落	4.3	4.5	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	45.5	22.7	18.2
	横ばい	54.5	72.7	81.8
	やや下落	0.0	4.5	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	33.3	12.5	8.7
	横ばい	66.7	87.5	91.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	13.0	0.0	0.0
	やや上昇	47.8	39.1	22.7
	横ばい	34.8	56.5	77.3
	やや下落	4.3	4.3	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	8.7	0.0	0.0
	やや上昇	73.9	56.5	27.3
	横ばい	13.0	43.5	72.7
	やや下落	4.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	9.5	0.0	0.0
	やや上昇	61.9	52.4	35.0
	横ばい	28.6	47.6	65.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	15.0	5.0	0.0
	横ばい	50.0	70.0	100.0
	やや下落	35.0	25.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	9.1	0.0	0.0
	横ばい	36.4	68.2	95.2
	やや下落	54.5	31.8	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	4.8	0.0	0.0
	やや上昇	66.7	47.6	20.0
	横ばい	28.6	52.4	80.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 京浜へのアラスカスプルース丸太の入荷が見込めない為、一部メーカーでは不足感が出始めた。米ツガ下級材丸太ではスプルースより深刻で、工場停止の事態も考えられる。(東京:問屋)
- マレーシアの天候は回復傾向だが、価格面から日本向けは低調である。中国は春節休みだが、欧米輸出の受注残や国内需要が引き続き好調な為の人民元高から、一段の値上げは必至。(東京:問屋)
- 1月勘定締切(20日)以降、荷動きがぱったり止まり、荷主からの売込みが激しい。(東京:問屋)
- 例年2月になると欧州材の値が下がるが、今年は不需要期でも下がらず、逆に値上がりしている。(東京:問屋)
- 役物等もようやく細々ながら引合いが出てきました。但し非常に選別が厳しく、徹底した当用買いは変わっていない。(東京:問屋)
- 南洋材の仕入れ値は契約毎に値上がりしているが、入荷も少ないので今のところ入荷分は殆んど売れている。(東京:問屋)
- 現在、不需要期で荷動きは良くないが、3月頃から荷動きは好転し、活発になると思われる。(東海:問屋)
- 荷動きは若干良くなってきたが、最悪だった12月、1月と比較してのこと。工務店の価格基準が未だ完全に切り替わっていない為か、まとまった数量の針葉樹合板をホームセンターの価格と比較され、仕事が取れなかった。(東京:仲買小売)
- 業績は町場のリフォーム、建替え需要が旺盛なため好調です。木材価格はそのまま高値安定で推移して欲しい。(東京:仲買小売)
- 見積りは多いが仕事が決まらない。資材全般の値上がりが影響していると思う。(東京:仲買小売)
- 価格止まりの見通しつかず。(東京:仲買小売)
- 町場の工務店は未だ動かず。けれど価格のみ今尚上昇中。これを繰り返しながら業界から仕事が離れていくことが心配である。(東京:仲買小売)